



大 都 監 第 1 7 0 号
平 静 2 0 年 1 0 月 2 4 日

国土交通省道路局長 様

大 竹 市 長
(都市環境部監理課)



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付で依頼があったこのことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①
広島県大竹市

現在、整備が進んでいる高速道路網は計画延長14,000Kmとなっており、既に8,900Kmが供用開始されています。高速道路の完成によって、国道を始めとした既存道路の渋滞緩和が大きく期待されていますが、高速道路の利用状況は目標を下回り、有効利用が十分なされていない状況が見受けられます。

高速道路本来の機能が発揮するためにも、通行料の大幅値下げを実行し、更なる利用促進を図ることで、現道の渋滞が大きく解消でき、結果的には市民生活の改善や向上に寄与するものと考えます。

○現状

大竹市は広島県の西端に位置し、国道２号を介し隣接する岩国市と生活圏を共有しながら、産業面においても重化学工業地帯を一体的に形成しています。

戦後、地域は国道２号とともに発展してきましたが、現状は日交通量が２万台を超えているにも関わらず、十分な幅員が確保されておらず、２車線構造となっています。この結果、慢性的な交通渋滞が発生し、騒音や大気汚染など市民生活に大きく悪影響を及ぼしています。

○課題

現在、国土交通省では、将来、大動脈となる国道２号バイパスとして「岩国大竹道路建設事業」に着手していますが、山口県側では事業が大幅に進捗しています。

一方、広島県側では用地買収は実施しているものの、予算面の都合から大きく事業に遅れが発生していますが、県境にまたがる一連の事業として岩国大竹道路の早期完成は急務となっています。

岩国市と大竹市は県境を越えた一体の都市圏であることを勘案して頂き、山口県側と広島県側の進捗状況が是正されるような制度の構築が必要であると考えています。

大竹市では第四次総合計画を策定し、５つの基本理念を掲げています。その中の１つとして、「豊かな自然とふれあい、活力を支える都市環境づくり」として、生活環境や都市基盤の整備により、人と自然、都市と自然が共存する都市を目指します。

安全で快適な道路網の整備は重要な位置付けがされており、大竹市が目指す将来像を具体化する項目を以下に記載します。

①幹線道路の整備

渋滞の解消や地域間の連絡を強化するため、国道２号バイパスの早期完成及び国道１８６号の改良を目指します。

②都市計画道路の整備

事業着手している路線の早期整備を図るとともに、市街地整備事業と一体に整備するなど都市計画道路を計画的・効率的に整備します。

③市道の整備

道路の維持管理に努めるとともに、路面の整備や道路の拡幅などの整備・改良を図ります。コミュニティ道路や歩道を設置するなど、自動車と歩行者が共存できる道路整備を進めます。また、周辺の住環境に配慮し、道路景観の形成に努めます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例，期待する効果や評価等）

様式④
広島県大竹市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
大規模な地震・火災に強い国土づくり	国道2号は主要幹線道路であるだけでなく，広島都市圏の各都市を連絡する生活道路としての機能を併せ持っています。また，台風等で全面通行止めとなった場合，迂回路の確保が困難な状況となるため，防災・減災対策は非常に重要な課題となっています。平成16年，17年に相次いで上陸した台風による高潮及び越波では，大竹～廿日市間で国道2号が全面通行止めとなる被害が発生し，区間内の集落が孤立した経緯があります。今後も国道2号の全面通行止めを回避する対策と併せ，更に1路線を整備する必要があると考えています。	台風の襲来によって国道2号が度々通行止めになることは，インフラとしての輸送機能が十分とは言えません。国道2号及び市道を1路線整備することは，平時では地域社会の発展に大いに貢献し，また，大規模な災害時には安全な避難路を確保することが期待されます。	
地域活力の向上Ⅰ	広島県大竹市を起点とする国道186号は，山陽と山陰を連絡する広域幹線道路で，沿線市町の発展に大きく寄与する重要な路線となっています。 本線の改良は，平成4年の弥栄ダムの完成以降，順次，整備が進められてきました。しかしながら，市街地に近い地域では，いまだに狭隘な道路幅員等の未改良部分が残され，事故多発等の交通障害を引き起こしている現状があります。	道路改良を行なうことで，沿岸部と山間部の移動が容易となり，道路沿線に点在する集落がスムーズに連絡されます。交通事故のない，生活圈レベルにおける地域の活性化が期待されます。	
地域活力の向上Ⅱ	広島県大竹市に位置する大竹港は地方港湾でありながら，背後には化学系の企業を多く抱えています。大竹港では東アジア地域を始めとした海外とのダイレクトアクセスが始まりつつあるものの，国道2号との連絡道が不十分であることから，物流拠点としての好立地条件を持ちながら，その機能が十分に発揮できない状況となっています。	大竹港と国道2号のアクセス道を新たに整備することは，市街地を通過する大型車輛を大幅に軽減し，自動車公害や交通安全対策に大きく寄与することとなります。 今後，岩国方面へのアクセス道を整備することで大竹港と岩国港又は各地域をスムーズに連絡することが可能となり，企業の広域的な地域活性活動の支援が可能となります。	